国際理解コース

名古屋市立北高等学校
2024.1.16

# Polaris news

【北高ニュース NO.202307】

## 「海外研修旅行」
## シンガポール・マレーシアへ
（2023.10.25～29）

■1 日目

「名古屋出発　シンガポールから陸路マレーシアへ」

朝 8:00 に中部国際空港セントレア集合。添乗員さんから航空券・外貨（マレーシア・リンギット/シンガポール・ドル）を受取り、出発式を行いました。出国に必要な各種手続きを済ませたら、空路シンガポールへ。

無事にシンガポールに着陸。入国審査は緊張しました。荷物を受け取って、バスに乗り込みます。「暑い…。」時差は小さいですが、気温差は大きかったです。ここからは、バスに乗って陸路マレーシアへ。国境では、出・入国手続きを待つ通勤者のバイクや車の数の多さに圧倒されました。

「夕食（マレー料理）」

マレーシアに入国する頃にはすっかり夕暮れ時。夕食には「マレー料理」をいただきました。

■２日目

「午前　現地校訪問（SMK タマン・プトゥリ校）」

　朝からジョホールバルにある学校を訪問しました。マレーシアの多文化共生を反映して、３つの民族舞踊で歓迎されました。北高生も英語による「学校紹介プレゼンテーション」や「アニメソング・メドレー」を発表しました。現地校にとっても久しぶりの「国際交流」とのことで、特別に１対１で生徒が案内をしてくれました。

【民族舞踊】　【交流の調印式】　【プレゼンテーション】

【アニメソング♪メドレー】　【右手で食事に挑戦】

「午後　村（カンポン）・ビジット」

　午後は、シナラン村へと移動しました。ゴムの木について学び、伝統的なお菓子作りを体験しました。気温と湯気とで汗だくでしたが、突然のスコールで一気に涼しくなりました。入村式を終えホームステイへ。心のこもった家庭料理をいただき、伝統あそびや民族衣装体験を通して異文化交流を満喫しました。

【ゴムの樹液観察】　【マレー語であいさつ】　【チョンカ】　【民族衣装体験】

■3 日目

「マラッカ一日研修」

世話になったシナラン村とホストファミリーに別れを告げて、バスで世界遺産の街マラッカへ。バスの車窓越しに広がる「ヤシ」のプランテーションを眺めながら、マレーシアの産業について学びました。マラッカへ到着後は、ガイドさんの案内でマラッカの歴史を物語る史跡を巡りました。この地域の地理的な特色から世界の交易の中心地になったこと、そのため異民族が定住してきた背景なども学びました。昼食にはマレーシアの代表的な料理の一つである「ニョニャ料理」を味わいました。

【青雲亭（マレーシア最古の仏教寺院）】　【サンチアゴ砦】　【オランダ広場】

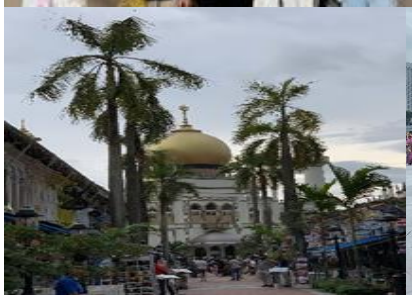
【昼食　ニョニャ料理】　【リバー・クルーズ】

■4 日目

「シンガポール一日研修」

朝食を済ませバスに乗り込みマレーシアからシンガポールへ国境越えです。予定よりもスムーズに出入国審査を済ませることができ観光時間が増えました。前半はブラザー＆シスタープログラムで現地の大学生に英語で案内をしてもらい、グループ研修と昼食をすませました。再集合の後はレストランで夕食を摂り、展望デッキからの夜景を眺めて時間を過ごしチャンギ国際空港に向かいました。

【B&S グループ研修】　【夕食　海鮮鍋】



【アラブストリート】　【マーライオン公園】　【ガーデン・バイ・ザ・ベイ】

■5 日目

「シンガポールから空路名古屋へ」

チャンギ国際空港に到着後は荷物の整理をして、セキュリティチェックや出国手続きをすませました。搭乗時刻まで時間に余裕があったので、ターミナル内で自由時間を過ごしました。飛行機の中ではほとんどの生徒が熟睡し目覚める頃に名古屋へ到着し５日間の研修を修了式で締めくくりました。

【チェックイン】　【ガイドさんや添乗員さんにお礼】　【代表生徒あいさつ】

■生徒の感想より

- 探究の授業で事前に現地のことについてしっかり調べ、理解して参加していたことがよかった。
- バスの移動が多いが、大農園など日本では見られない光景ばかりなので、ぜひ外も見ておくべき。
- 現地校では大歓迎され、日本とは違う雰囲気に触れ英語での交流ができたのでとてもいい経験になった。
- ホームステイは現地の食事や暮らしを体験するなど旅行ではできない貴重な経験ができて良かった。
- マラッカはとても暑かったが、ガイドさんの話を聴いて初めて知ることや理解が深まることが多かった。